

高難燃キャブタイヤケーブル

高難燃キャブタイヤケーブルは、垂直トレイ燃焼試験 (IEEE Std.383:1974) に合格する、難燃性に優れたクロロプレンキャブタイヤケーブルです。(標準品はJIS水平難燃合格レベル) 延焼しにくいいため、防災用のキャブタイヤケーブルとして最適です。

■ ケーブルの難燃性

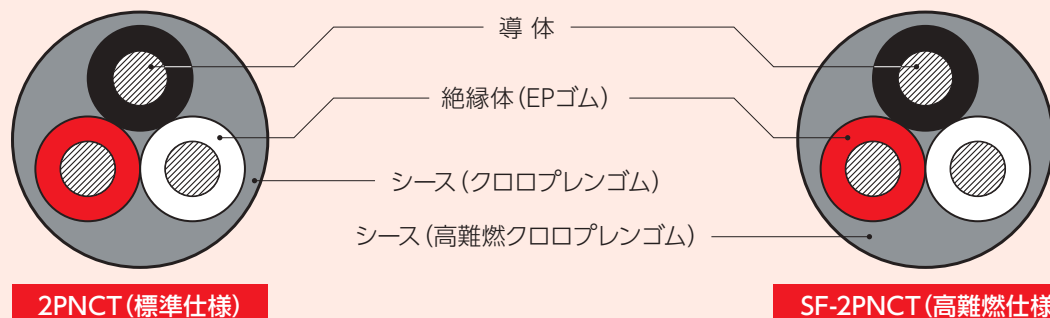
燃焼試験	試料形態	規格	適用ケーブル(例)
垂直トレイ燃焼試験	完成品・多条	IEEE Std.383:1974	SF-2PNCT、SF-3PNCT
60° 傾斜燃焼試験	完成品・1条	JIS C 3005	EM-2PPCT、VCT、KIP、EM-WCCT
水平燃焼試験	完成品・1条	JIS C 3005	2PNCT、3PNCT、WNCT
鉄道車両用材料燃焼試験	材料単体	鉄道に関する技術上の基準を定める省令	EM-LFC、EM-SF・CC

高難燃キャブタイヤケーブルの種類

高難燃キャブタイヤケーブル (SF-) の種類には、高圧 (3300V、6600V) 及び低圧の2種、3種、特殊移動用があります。(一部品種を除く)

高難燃キャブタイヤケーブルの構造上の特長

高難燃キャブタイヤケーブルは、シース材に特殊なクロロプレンゴムを使用しています。シース以外の導体構成、絶縁体等は標準品と同様としておりますので、構造寸法、許容電流値に変更はありません。



2PNCT (標準仕様)

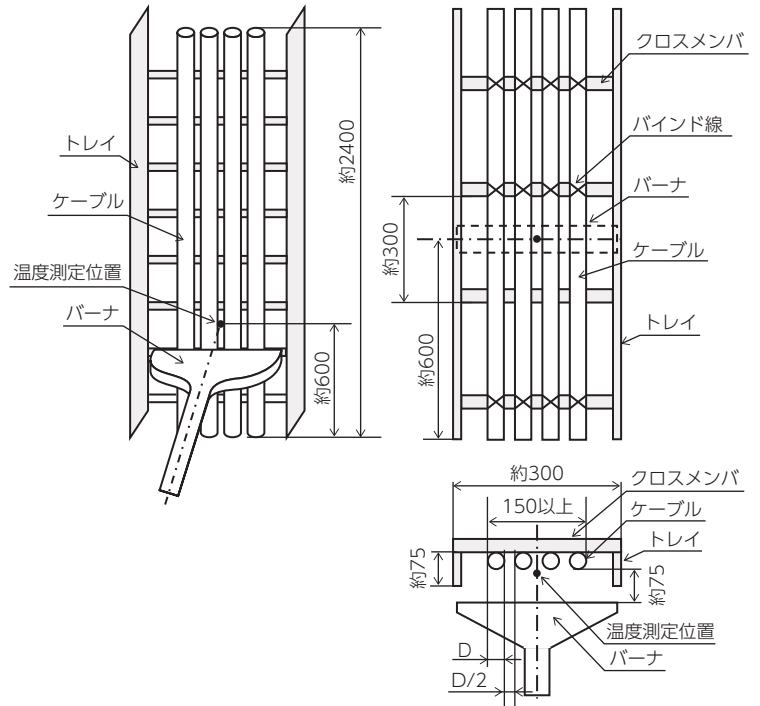
SF-2PNCT (高難燃仕様)

高難燃キャブタイヤケーブルの性能

当社の高難燃キャブタイヤケーブルは、標準品と同等の電気特性を有しています。また、標準品と同等レベルの柔軟性、加工性、諸特性 (耐熱性、耐候性、耐油性など) を有しておりますので、標準品と遜色なくご使用いただけます。

■ 垂直トレイ燃焼試験

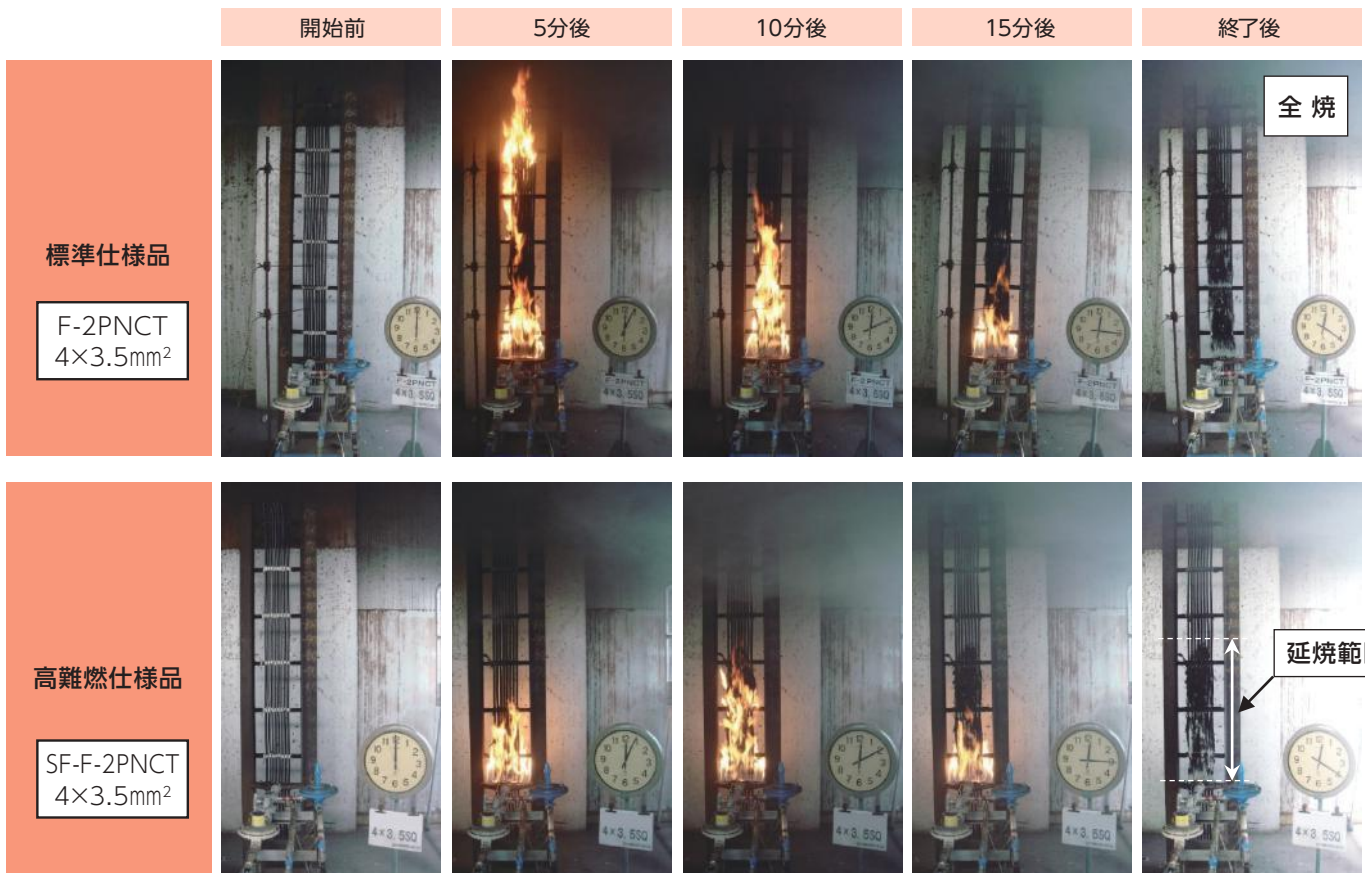
準拠規格	IEEE Std.383:1974
試験概要	ケーブル外径の1/2の間隔で布設幅が150mm以上となるように、垂直に設置されたはしご状のトレイにケーブルを布設(2.4m×規定本数)し、トレイの下方600mmから規定のリボンバーナにより、ケーブルを20分間燃焼させる
合格基準	ケーブルの上端(燃焼距離1800mm)まで延焼しないこと



垂直トレイ燃焼試験概要(単位:mm)

■ 燃焼試験状況

F-2PNCT 4×3.5mm² (外径14.8mm) ケーブル本数8本



■ 高難燃キャブタイヤケーブルの適応例

- 発電施設の仮設電源用
- 炉周りや溶接機の周りなど、火の粉のかかる設備
- その他延焼防止措置が必要な配線